2020年３月期
第３四半期決算説明会

2020年1月31日

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

日本郵船

目次

1. 2020年3月期 第３四半期決算概要 ―― p.3-6

2. 2020年3月期 通期業績予想 ―― p.7-10

3. セグメント別状況 ―― p.11-14

★ (添付)　Ocean Network Express
2019年度第3四半期決算説明資料

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

1. 2020年3月期第3四半期決算概要

日本郵船

＜ 累計期間 (4月～12月) 振り返り ＞

前年同期比 減収、経常利益は黒字化し大幅改善

- 売上高　　ポートフォリオ見直しに伴う事業持分売却等による
- 経常損益　　定期船、不定期専用船の増益が牽引
- 特別利益・損失　　機体・予備エンジン・部品等につき減損損失 約157億円
  （うち、機体 約95億円、その他 約62億円）を計上
  高コスト傭船の期前返船を継続して実施（今期２隻）
  資産流動化の一環で、保有不動産の売却益を計上

＜ 第３四半期 (10月～12月) 振り返り ＞

- 定期船　　ONE社北米・欧州航路では、前年同期比で積高・運賃は伸び悩むも
  イールドマネジメントや機動的な減便を実施し収支を下支え
- 航空運送　　米中貿易問題等による需要減少が想定以上に継続
  NCA社保有の固定資産を対象に上述の減損損失を計上
- 物流　　継続する米中貿易問題、香港情勢混乱の影響で、フォワーディング
  取扱量が減少。ロジスティクス事業では、欧州・米国で採算性が改善
- 不定期専用船

  ドライバルク輸送：市況は想定比で下振れたが、前四半期に開始した高採算の実航海が
  当四半期に完了し収支に反映、先物取引(FFA)でも利益を確保
  （４Q航海完了分も一部が３Qに反映）

  エネルギー輸送　：好調なタンカー市況のメリットを享受、LNG・海洋は高稼働を維持

  自動車船輸送　：配船効率化が収支向上に結実、堅調に推移

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

第3四半期決算 (サマリー)

3Q決算

日本郵船

- 各段階損益で増益傾向が継続
- ポートフォリオ見直しに伴う事業持分売却等で前年同期比 減収

(億円)	19/3期 1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	20/3期 1Q	2Q	3Q	累計	1-3Q 累計 増減
売上高	4,648	4,507	4,689	13,846	4,446	18,293	4,064	4,183	4,285	12,532	▲1,313
営業損益	▲81	39	87	45	65	110	54	103	166	324	279
経常損益	▲66	▲24	56	▲33	13	▲20	64	96	224	384	418
親会社株主に帰属する当期純利益	▲45	▲52	10	▲87	▲357	▲445	91	19	76	187	274
為替レート	¥108.10	¥110.87	¥113.43	¥110.80	¥110.28	¥110.67	¥110.73	¥107.63	¥108.79	¥109.05	-¥1.75
燃料油価格	$395.94	$443.36	$478.90	$439.40	$451.74	$442.49	$438.21	$435.09	$427.33	$433.29	-$6.11

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

前年同期比較（セグメント別）

3Q決算

日本郵船

- 定期船：前期の単体事業終了コストの剥落、ONE業績改善等で大幅増益
- 不定期専用船 ：堅調なエネルギー・自動車船に加え、ドライバルクの市況回復も業績に反映
- 航空運送・物流 ： 米中貿易問題等の影響を受け悪化

	事業セグメント (億円)	19/3期 1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	20/3期 1Q	2Q	3Q	累計	1-3Q累計増減
一般貨物輸送事業	定期船	801	700	679	2,181	682	2,863	519	516	511	1,547	▲633
		▲166	▲22	▲58	▲247	▲16	▲264	19	77	36	134	381
	航空運送	217	74	131	422	145	567	177	186	203	566	144
		▲16	▲62	▲42	▲122	▲37	▲159	▲44	▲47	▲43	▲134	▲12
	物流	1,304	1,353	1,373	4,030	1,227	5,258	1,177	1,204	1,219	3,602	▲428
		13	19	38	71	6	77	▲0	23	19	43	▲27
	(単純合計)	2,323	2,127	2,183	6,634	2,054	8,689	1,874	1,907	1,934	5,716	▲917
		▲169	▲65	▲63	▲299	▲46	▲346	▲25	54	13	42	341
不定期専用船事業	不定期専用船	2,065	2,081	2,184	6,331	2,082	8,413	1,951	2,051	2,107	6,110	▲221
		104	54	106	265	72	337	92	50	205	348	82
その他事業	不動産	18	19	18	57	19	76	18	17	18	54	▲2
		7	7	6	20	6	27	7	5	6	19	▲1
	その他	435	466	501	1,403	478	1,881	397	371	447	1,216	▲187
		9	▲3	19	25	5	30	7	2	14	25	▲0
	消去・全社	▲194	▲186	▲199	▲580	▲187	▲767	▲177	▲165	▲222	▲565	14
		▲17	▲16	▲12	▲46	▲24	▲70	▲17	▲16	▲16	▲50	4
	連結	4,648	4,507	4,689	13,846	4,446	18,293	4,064	4,183	4,285	12,532	▲1,313
		▲66	▲24	56	▲33	13	▲20	64	96	224	384	418

※ （上段）売上高 （下段）経常損益

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

経常損益　前年同期比増減分析

3Q決算

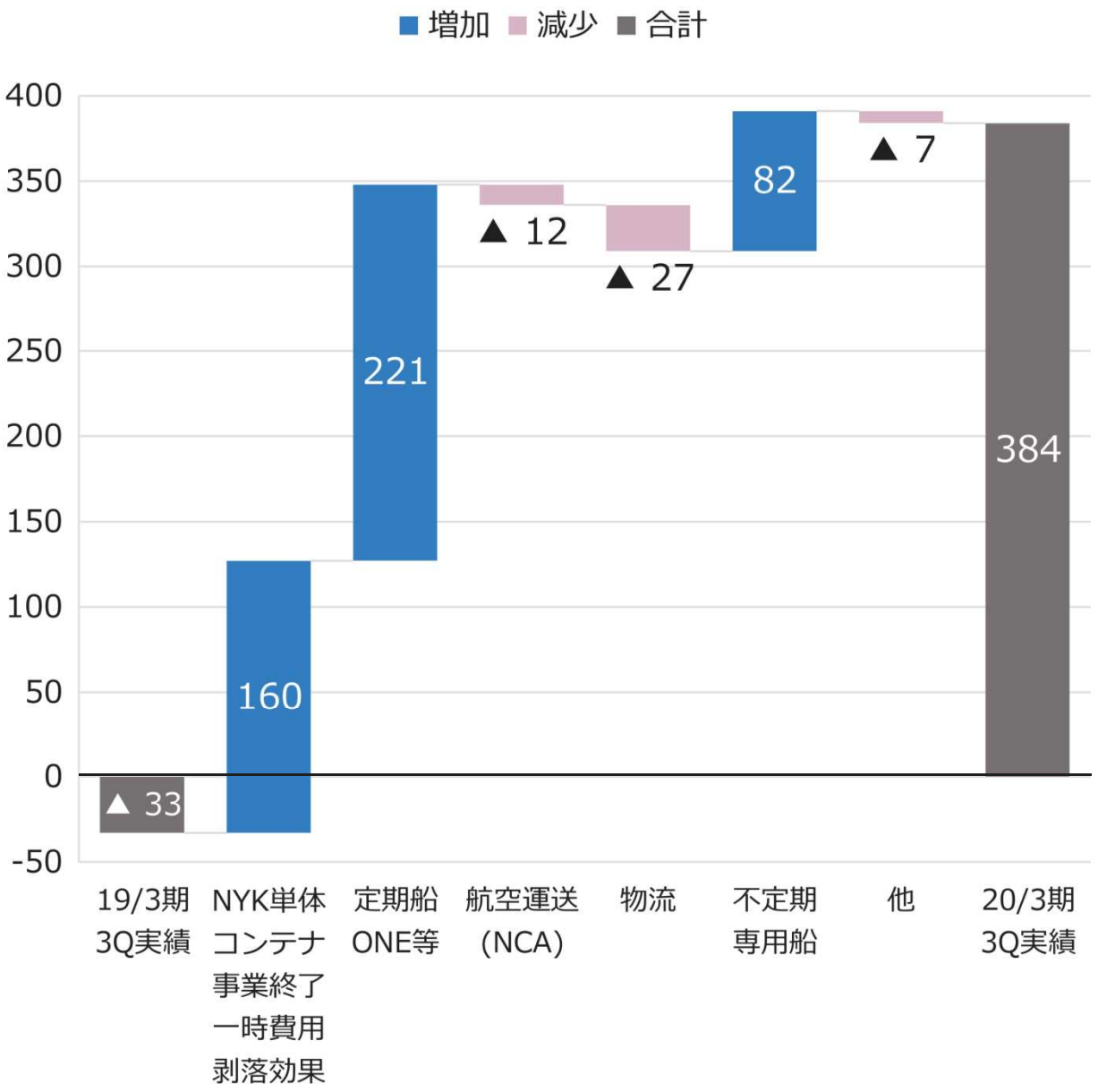
日本郵船

要因別分析

円高	**▲4**	今期 109.05円/$, 1.75円の円高
燃料油安	**1**	今期 $433.29/MT, $6.11の下落
海運市況変動等	**342**	定期船(含むONE)＋224 不定期船+118
為替差損益	**▲28**	
その他	**107**	単体コンテナ船 事業終了一時費用 剥落効果 ＋160
合計	**418**	

事業別分析

（単位：億円）



© 2020. NYK Group. All rights reserved.

2. 2020年3月期通期業績予想

業績予想

日本郵船

- 前期比　大幅増益　定期船・不定期専用船の改善効果が貢献
- 前回予想比　営業損益を下方修正（航空運送、物流、ドライバルク）
  営業外損益は大きく改善（持分法損益、ドライバルクFFA、金利負担減）
  経常損益・当期純利益は上方修正

（ 経常損益 ）

- 定期船　上方修正　ONE社の業績の上方修正を反映
- 航空運送　下方修正　ピークシーズン(3Q)も盛り上がりに欠け、厳しい市況が継続
- 物流　下方修正　米中貿易問題・香港情勢混乱の影響で、フォワーディング取扱量の減少を見込む
- 不定期専用船　上方修正　3Qまでの収支改善を反映、SOx規制対応は問題無く完了、相応のコスト負担については顧客の理解が浸透

ドライバルク輸送　足許市況の下落を踏まえ、市況前提を下方修正

エネルギー輸送　タンカー市況は堅調を見込む
LNG・海洋の高稼働も貢献

自動車輸送　採算性を重視した航路改編・貨物構成への移行を継続

- 資産流動化、高コスト傭船の期前返船等の取り組みを継続
- 配当予想　期末20円／株（年間40円／株）
- 新型コロナウイルス流行の影響は業績予想に織り込まず

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

通期業績予想（サマリー）

業績予想

日本郵船

(億円)	19/3期（実績） 1Q	2Q	3Q	4Q	通期	20/3期（予想） 1Q	2Q	3Q(実)	4Q	通期	通期増減	前回予想比（通期）
売上高	9,156		9,136		18,293	8,247		8,353		16,600	▲1,693	▲200
	4,648	4,507	4,689	4,446		4,064	4,183	4,285	4,067			
営業損益	▲41		152		110	158		212		370	260	▲35
	▲81	39	87	65		54	103	166	46			
経常損益	▲90		69		▲20	160		240		400	420	30
	▲66	▲24	56	13		64	96	224	16			
親会社株主に帰属する当期純利益	▲97		▲347		▲445	111		179		290	735	30
	▲45	▲52	10	▲357		91	19	76	103			
為替レート	¥108.10	¥110.87	¥113.43	¥110.28	¥110.67	¥110.73	¥107.63	¥108.79	¥105.00	¥108.04	-¥2.63	+¥0.95
燃料油価格	$395.94	$443.36	$478.90	$451.74	$442.49	$438.21	$435.09	$427.33	$350.00	$412.60	-$29.89	+$14.33
								(適合油価格→)	$600.00			

- 経常利益に対する感応度(4Q)
  - 為替レート　：1円の円安で約0.3億円/4Qの増益
  - 燃料油価格　：$10/MTの燃料油価格下落で約0.4億円/4Qの増益

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

通期業績予想（前年同期比・セグメント別）

業績予想

日本郵船

	事業セグメント (億円)	19/3期（実績） 1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	20/3期（予想） 1Q	2Q	上期(実)	3Q(実)	4Q	下期	通期	通期増減
一般貨物輸送事業	定期船	801 ▲166	700 ▲22	1,502 ▲188	679 ▲58	682 ▲16	1,361 ▲75	2,863 ▲264	519 19	516 77	1,036 97	511 36	482 ▲4	994 33	2,030 130	▲833 394
	航空運送	217 ▲16	74 ▲62	291 ▲79	131 ▲42	145 ▲37	276 ▲79	567 ▲159	177 ▲44	186 ▲47	363 ▲91	203 ▲43	183 ▲35	386 ▲78	750 ▲170	183 ▲11
	物流	1,304 13	1,353 19	2,657 32	1,373 38	1,227 6	2,600 44	5,258 77	1,177 ▲0	1,204 23	2,382 23	1,219 19	1,198 ▲9	2,418 11	4,800 35	▲458 ▲42
	(単純合計)	2,323 ▲169	2,127 ▲65	4,450 ▲235	2,183 ▲63	2,054 ▲46	4,238 ▲110	8,689 ▲346	1,874 ▲25	1,907 54	3,781 28	1,934 13	1,863 ▲47	3,798 ▲34	7,580 ▲5	▲1,109 341
不定期専用船事業	不定期専用船	2,065 104	2,081 54	4,146 158	2,184 106	2,082 72	4,266 179	8,413 337	1,951 92	2,051 50	4,003 142	2,107 205	1,989 87	4,096 293	8,100 435	▲313 98
その他事業	不動産	18 7	19 7	38 14	18 6	19 6	38 13	76 27	18 7	17 5	36 13	18 6	20 6	39 12	75 25	▲1 ▲2
	その他	435 9	466 ▲3	901 5	501 19	478 5	979 24	1,881 30	397 7	371 2	768 10	447 14	383 ▲15	831 0	1,600 10	▲281 ▲20
	消去・全社	▲194 ▲17	▲186 ▲16	▲380 ▲33	▲199 ▲12	▲187 ▲24	▲387 ▲36	▲767 ▲70	▲177 ▲17	▲165 ▲16	▲342 ▲34	▲222 ▲16	▲190 ▲15	▲412 ▲31	▲755 ▲65	12 5
	連結	4,648 ▲66	4,507 ▲24	9,156 ▲90	4,689 56	4,446 13	9,136 69	18,293 ▲20	4,064 64	4,183 96	8,247 160	4,285 224	4,067 16	8,353 240	16,600 400	▲1,693 420

※　（上段）売上高　（下段）経常損益

➢ 前年同期比で定期船・不定期専用船が経常増益、航空運送・物流は経常悪化

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

通期業績予想（前回予想比・セグメント別）

業績予想

日本郵船

	事業セグメント	前回予想			今回予想					前回予想差	通期 経常損益傾向（前回予想比）
	(億円)	上期	下期	通期	上期(実)	3Q(実)	4Q	下期	通期	通期	
一般貨物輸送事業	定期船	1,036	1,004	2,040	1,036	511	482	994	2,030	▲10	コンテナ
		97	3	100	97	36	▲4	33	130	30	ターミナル
	航空運送	363	447	810	363	203	183	386	750	▲60	
		▲91	▲49	▲140	▲91	▲43	▲35	▲78	▲170	▲30	海上事業
	物流	2,382	2,617	5,000	2,382	1,219	1,198	2,418	4,800	▲200	航空事業
		23	31	55	23	19	▲9	11	35	▲20	ロジスティクス事業
	(単純合計)	3,781	4,068	7,850	3,781	1,934	1,863	3,798	7,580	▲270	
		28	▲14	15	28	13	▲47	▲34	▲5	▲20	内航・その他
不定期専用船事業	不定期専用船	4,003	4,097	8,100	4,003	2,107	1,989	4,096	8,100	0	
		142	257	400	142	205	87	293	435	35	ドライバルク輸送
その他事業	不動産	36	39	75	36	18	20	39	75	0	
		13	12	25	13	6	6	12	25	0	エネルギー輸送
	その他	768	801	1,570	768	447	383	831	1,600	30	
		10	▲5	5	10	14	▲15	0	10	5	自動車輸送
	消去・全社	▲342	▲452	▲795	▲342	▲222	▲190	▲412	▲755	40	
		▲34	▲41	▲75	▲34	▲16	▲15	▲31	▲65	10	
	連結	8,247	8,553	16,800	8,247	4,285	4,067	8,353	16,600	▲200	
		160	210	370	160	224	16	240	400	30	

※　（上段）売上高　（下段）経常損益

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

セグメント別 資料（一般貨物輸送事業）

1. 航空運送事業（NCA）

	19/3期(実績)					20/3期(予想)					前回予想比(通期)
	上期		下期		通期	上期(実)		下期		通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
売上高(億円)	291		276		567	363		386		750	▲60
	217	74	131	145		177	186	203	183		
経常損益(億円)	▲79		▲79		▲159	▲91		▲78		▲170	▲30
	▲16	▲62	▲42	▲37		▲44	▲47	▲43	▲35		
輸送重量 千トン	148		128		276	190		196		386	▲7
	112	36	57	71		93	96	99	97		
輸送量(RTK) 百万トンキロ	855		722		1,576	1,062		1,121		2,183	▲114
	671	183	306	416		529	533	560	561		
供給量(ATK) 百万トンキロ	1,222		1,148		2,370	1,790		1,795		3,585	▲45
	944	278	489	659		894	896	894	902		
YIELD指数 09/3期　1Q=100	90		90		90	84		83		84	0
	94	79	95	85		88	81	85	82		
MOPS **(ジェット燃料)** US$ per bbl	$88		$80		$84	$78		$78		$78	▲$4
	$87	$89	$83	$77		$80	$77	$76	$80		

- 厳しい市況環境が継続する中、機体、予備エンジン、部品等、NCA社が保有する全ての固定資産を対象に減損を検討。約157億円を特別損失に計上（うち、機体は約95億円）
- 北米便のダイヤ改編による利便性向上や台北便の増便で需要増を取り込む

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

セグメント別状況 (一般貨物輸送事業)

日本郵船

2. 物流事業

郵船ロジスティクス 取扱量		18/3期 (実績)	19/3期(実績)					20/3期(予想)					前回予想比 (通期)
			上期		下期		通期	上期(実績)		下期		通期	
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
海上輸出	TEU (1,000TEU)	780	419		397		815	395		383		777	▲3
			203	216	207	190		191	203	198	185		
	前年同期比	1%	4%		▲3%		5%	▲6%		▲4%		▲5%	▲0%
			5%	3%	▲2%	▲4%		▲6%	▲6%	▲4%	▲3%		
航空輸出	重量 (1,000トン)	375	190		189		380	169		174		343	▲4
			94	97	101	88		83	86	89	85		
	前年同期比	2%	4%		▲1%		1%	▲11%		▲8%		▲10%	▲1%
			2%	6%	▲4%	2%		▲11%	▲11%	▲12%	▲3%		

- 海上事業
  米中貿易問題を背景とした取扱い減少
  機動的なマーケティングによる取扱い調整を継続し、採算性管理を強化
- 航空事業
  仕入値削減により利益率は改善、低調なマーケットが継続し取扱い減少
- ロジスティクス事業
  構造改革や契約更改を進めた欧米では業績が改善
  課題の南アジアの収支改善は取組みを継続
- 内航・その他
  日韓情勢によりフェリー事業が低調、内航船は日本海荒天の欠航影響あり

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

セグメント別 資料（不定期専用船事業）

3. 不定期専用船事業 – 1）ドライバルカー・タンカー市況動向

		19/3期(実績)					20/3期(予想)					前回予想	
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q(実)	2Q(実)	3Q(実)	4Q	通期	下期	通期
ドライバルカー	BDI	1,258	1,603	1,357	791	1,252	994	2,035	1,542	975	1,387	1,563	1,539
	Cape (5TC)	14,928	22,054	15,822	8,628	15,358	11,363	29,423	21,932	9,000	17,930	20,500	20,447
	Panamax (Pac)	10,741	10,444	10,777	7,218	9,795	8,602	13,296	10,124	8,500	10,131	12,000	11,475
	Handymax (Pac)	11,467	10,718	9,527	7,935	9,912	7,593	10,481	9,507	6,000	8,396	12,000	10,519
	Handy (Pac)	8,684	7,932	7,718	5,609	7,486	6,254	7,236	7,299	5,000	6,448	8,750	7,748
タンカー	VLCC	9,076	13,966	45,351	27,840	24,058	12,565	26,456	91,476	47,500	44,500	47,500	33,505
	VLGC	8,774	23,298	26,177	13,602	17,963	50,691	53,795	66,010	45,000	53,874	45,000	48,621

※ドライバルク船型別市況（スポット傭船料）　5TC = 5航路平均、Pac = 太平洋ラウンド　単位 = $/day

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

セグメント別 資料（不定期専用船事業）

3．不定期専用船事業 – 2）自動車船

	19/3期(実績)					20/3期(予想)					前回予想比(通期)
	上期		下期		通期	上期(実績)		下期		通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
輸送台数(万台)	168		172		340	162		152		314	0
	87	81	86	86		79	83	75	76		
前年同期比	▲6%		▲7%		▲6%	▲3%		▲12%		▲8%	-
	▲1%	▲11%	▲8%	▲5%		▲9%	3%	▲12%	▲11%		

- 輸送台数は前回予想から変化なし
- 選択的な貨物集荷、配船効率化の効果で堅調な収支を見込む

© 2020. NYK Group. All rights reserved.

OCEAN NETWORK EXPRESS

2019年度第3四半期決算説明資料

2020年1月31日

2019年度第3四半期決算(第3四半期実績・第4四半期予想)

下期及び通期業績見込み　対前回予想比較

（単位：百万US$）

*2019年10月時点

	2019年度（前回予想）*					2019年度（最新予想）							通期	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 予想	下期 予想	通期 予想	増減	増減 (%)
売上高	2,875	3,109	5,984	6,125	12,109	2,875	3,109	5,984	2,914	2,980	5,895	11,879	-231	-1.9%
税引き後損益	5	121	126	-66	60	5	121	126	5	-49	-45	81	21	33.8%
燃料油価格（US$/MT）	$432	$419	$427	$508	$469	$432	$419	$427	$417	$561	$488	$457	-$12	

- 第3四半期は5百万US$の黒字を計上（3四半期連続での黒字決算）
- 通期予想は81百万US$に上方修正（対前回予想比　+21百万US$）

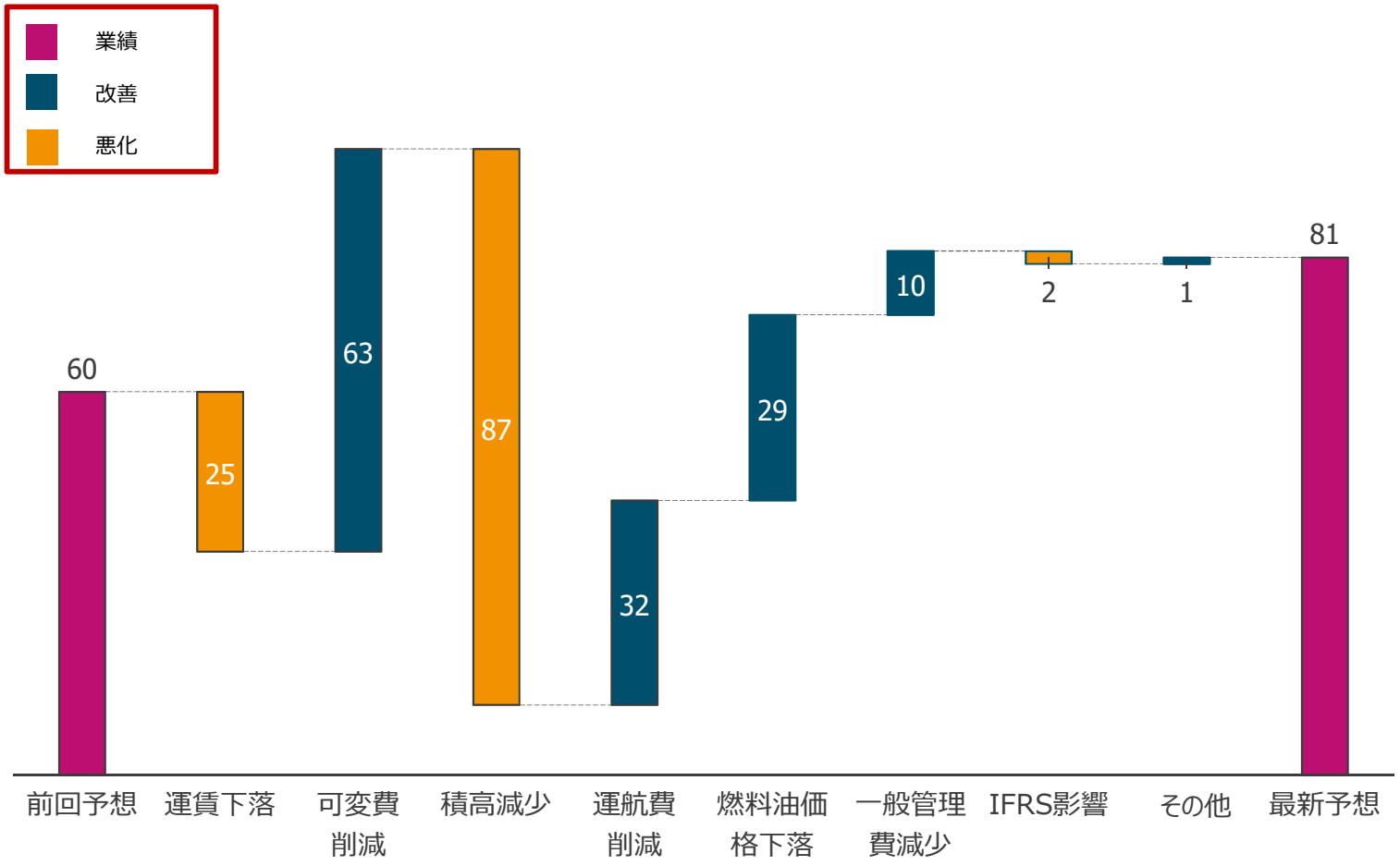
- 全体の荷動きは、1月下旬の旧正月に至るまで、東西航路及び南北・アジア域内航路全般についてほぼ想定通りに推移した。12月には、1月から課徴される新たな燃油サーチャージを回避する為の若干の駆け込み出荷が見られたのも、荷動きを支えた。ただ、旧正月以降については、弱含みな荷動き環境が見込まれる。それに伴い、東西航路のザ・アライアンスを中心に、需要減少に対応した断続的な減便を実施予定で、運航コストの削減に努める。
- 空コンテナ回送最適化等の可変費分野でのコスト削減が予想を上回る成果を挙げており、収支改善に大きく寄与。
- 下期の前半においては、旧来のHFOバンカー価格が当初想定を下回り、収支の押し上げ要因となった。1月以降の規制適合油については、ほぼ想定並みの価格で推移する見込み。
- MARPOL2020規制対応では、規制適合油の調達や本船毎の綿密なマイクロマネジメントを行い、12月中に円滑に移行を完了。MARPOL2020規制に伴う追加燃料油コストは想定通りOBS（ONE BUNKER SURCHARGE）等で徴収中。

© 2020 Ocean Network Express Pte. Ltd.

2019年度通期業績予想差異分析（対前回予想）

通期業績　対前回予想比較

（単位：百万US$）



- 運賃：旧正月以降の短期市況の悪化リスクを反映。
- 可変費：進行中の競争力強化策が想定以上に進展、下期を通じて改善を見込む。
- 積高：北米航路往航荷動きはマーケット全体で前年を下回って推移しており、旧正月以降の見込みを前回予想より下方修正。
- 運航費：第3四半期での減便の運航費削減に加え、第4四半期で想定する追加減便効果を織り込み。
- 燃料油価格：第3四半期実績の燃料油価格の下落を反映。第4四半期の前提は前回並みに据え置き。
- 一般管理費：主に代理店料が下落。

© 2020 Ocean Network Express Pte. Ltd.

主要航路別積高・消席率・運賃指数

（単位：千TEU）

航路別積高・消席率		2018年度							2019年度			
		1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績
北米往航	積高	530	761	1,291	746	627	1,374	2,664	669	773	1,442	665
	消席率	73%	90%	82%	95%	88%	92%	87%	86%	94%	90%	93%
欧州往航	積高	312	478	790	442	455	897	1,687	460	488	947	440
	消席率	73%	90%	82%	92%	92%	92%	88%	87%	95%	91%	92%
北米復航	積高	218	285	502	320	318	639	1,141	350	310	660	320
	消席率	33%	33%	33%	40%	43%	41%	37%	47%	37%	42%	42%
欧州復航	積高	194	263	457	315	320	634	1,091	323	328	651	362
	消席率	48%	47%	48%	62%	63%	62%	55%	64%	64%	64%	72%

（2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数）

航路別運賃指数	2018年度							2019年度			
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績
北米往航	100	101	101	108	105	107	104	103	105	104	104
欧州往航	100	106	104	100	107	104	104	100	101	100	98

※2019年度第3四半期　主要航路の減便実績
北米　31便　（ONEスペースの13%相当）
欧州　12便　（ONEスペースの18%相当）

© 2020 Ocean Network Express Pte. Ltd.

取り組み進捗

2019年度の取り組みと進捗		期初目標額
貨物ポートフォリオ最適化・イールドマネージメント強化	貨物ポートフォリオ最適化に伴う収益改善は想定通りの水準。イールドマネジメントに繋がるオペレーション効率の向上、業務プロセスの合理化による可変費コスト削減は想定以上の効果が出ており、引き続き競争力の強化を進める。	190百万US$/年
プロダクト（航路・投入船）最適化	期首想定の2019年度プロダクト最適化効果、燃料油節減活動による改善策は順調に進捗。各航路では、需要の変化に対応した減便などの冬季プランを実行中。新興市場強化を目指し第3四半期に開設した中東・インド-アフリカ航路、東インド-欧州航路は高消席率を維持 THE　ALLIANCEでは来期プロダクトを公表。新メンバーの現代商船も交え、更に競争力のあるサービスを提供していく。	260百万US$/年
組織の最適化	一般管理費削減計画は想定通りに進行中。E-Commerceの強化やライブチャットの導入を進め、顧客の利便性向上や社内業務効率化を推進。ロボティクスについては社内定型プロセスの一部で導入、引き続き拡大予定。	50百万US$/年
MARPOL2020対応	本船の規制適合油への切り替えは円滑に完了。OBS等BUNKER SURCHARGEによる追加コストの回収は想定通り進捗。スクラバー設置は、基幹船隊である大型船を中心にスケジュール通り搭載していく予定。加えて、今後も業界の動向を注視しつつ、適合油調達とスクラバー設置の最適な組み合わせを加味して、導入船の拡大に就いて検討していく予定。	

2018年度からの取り組み	
シナジー効果の現出	1,050百万US$/年間のシナジー効果目標について、統合1年目となる2018年度には82%現出。2年目の2019年度に96%達成、3年目の2020年度に100%達成とする目標に変更なし。
海外ターミナル事業の移管	親会社からの海外ターミナル事業の移管は2019年度中の実行を目指す。

© 2020 Ocean Network Express Pte. Ltd.

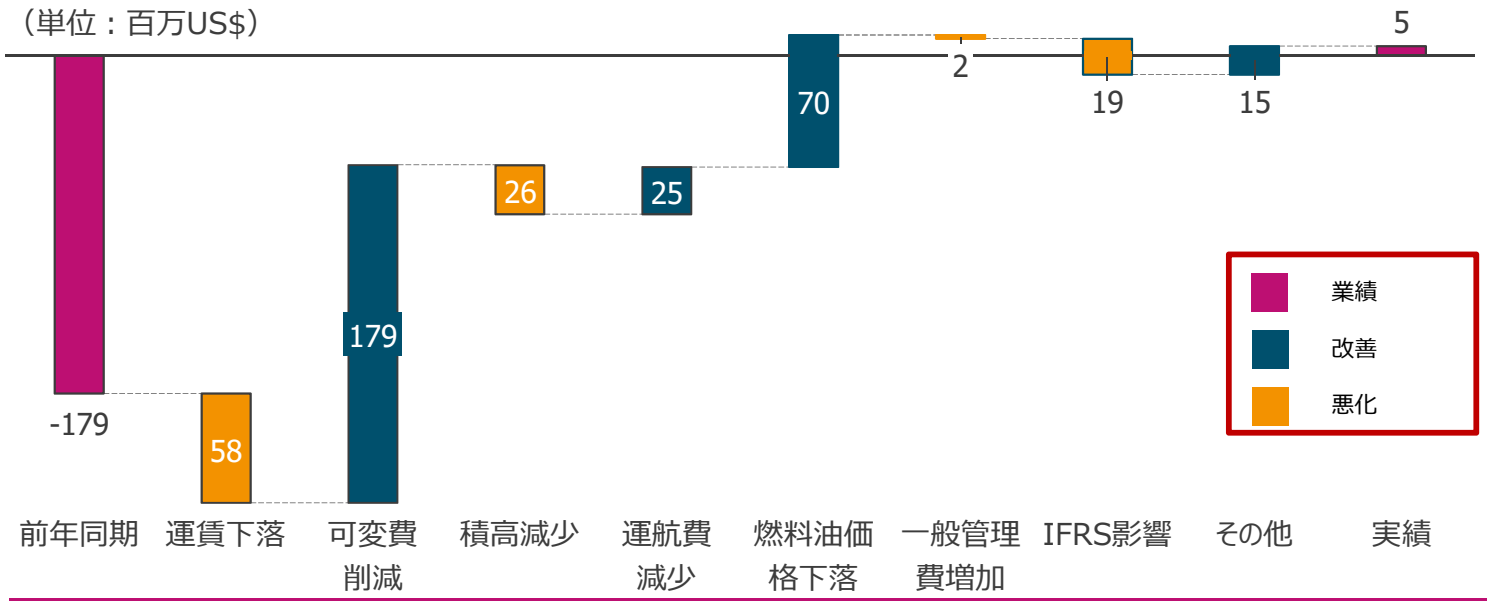
（参考）2019年度第3四半期 決算概要及び差異分析

第３四半期実績　及び前年同期比較

（単位：百万US$）

	2018年度			2019年度			3Q		1Q-3Q	
	上期実績	3Q実績	1Q-3Q実績	上期実績	3Q実績	1Q-3Q実績	増減	増減(%)	増減	増減(%)
売上高	5,030	3,025	8,055	5,984	2,914	8,898	-111	-3.7%	843	10.5%
税引き後損益	-311	-179	-490	126	5	131	184	-	621	-
燃料油価格（US$/MT）	$434	$487	$453	$427	$417	$424	-$70		-$29	

第３四半期実績　対前年同期差異分析



- 運賃：主に北米、欧州で下落
- 可変費：貨物ポートフォリオ最適化効果、コスト削減活動が進展。
- 積高：北米荷動きは対前年で減少。その他の航路は好調。
- 運航費：運航キャパシティは増加も、プロダクト最適化や燃料油節減活動により減少。
- 一般管理費：代理店費用が増加。
- IFRS影響：リース会計基準適用開始による影響
- その他：TAXは増加も、利息収入、為替影響により改善。

© 2020 Ocean Network Express Pte. Ltd.

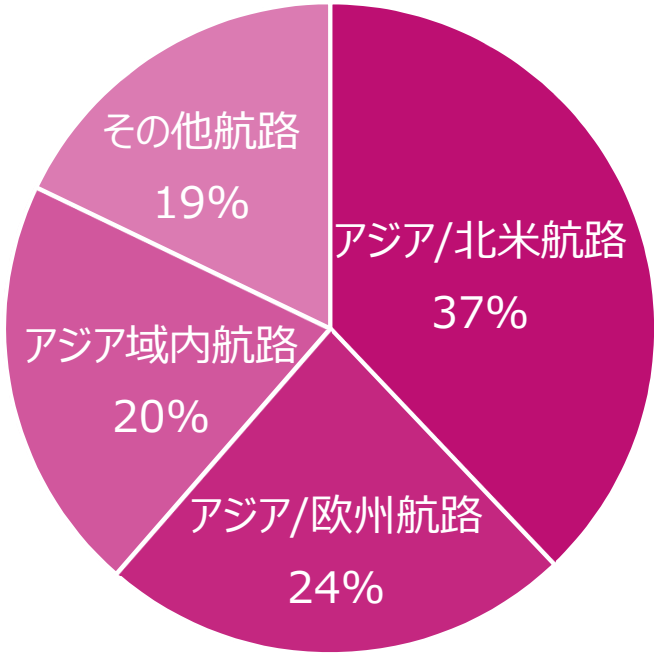
（参考）船隊構成・航路構成

船隊構成

	Size		1)2019年9月末	2)2019年12月末	2)-1)
第3四半期末	>= 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	120,600	120,600	0
		隻数	6	6	0
	10,500 - 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	363,220	363,220	0
		隻数	26	26	0
	9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU)	100,100	100,100	0
		隻数	10	10	0
	7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU)	374,655	374,655	0
		隻数	42	42	0
	6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU)	233,752	227,260	▲ 6,492
		隻数	36	35	▲ 1
	5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU)	89,998	100,910	10,912
		隻数	16	18	2
	4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU)	123,597	118,480	▲ 5,117
		隻数	25	24	▲ 1
	4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU)	71,816	71,816	0
		隻数	16	16	0
	3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU)	34,003	34,003	0
		隻数	8	8	0
	2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU)	52,916	61,125	8,209
		隻数	20	23	3
	1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU)	12,082	11,993	▲ 89
		隻数	7	7	0
	1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU)	9,644	9,631	▲ 13
		隻数	9	9	0
	< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU)	698	0	▲ 698
		隻数	1	0	▲ 1
	合計	**キャパシティ(TEU)**	**1,587,081**	**1,593,793**	**6,712**
		隻数	**222**	**224**	**2**

航路構成

（2019年3Q　往復スペースの構成）



© 2020 Ocean Network Express Pte. Ltd.

日本郵船

免責事項
本資料に掲載されている将来計画や業績予測、戦略、方針、見込み等に関する記載は、資料作成時点で入手可能な情報及び一定の仮定に基づいて作成されたものであり、将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は、予想、予測、期待、傾向、目的、計画、確信、模索、継続、可能性等の文言又は類似する表現が含まれることがありますが、これに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な不確定要素及び可変要因により、実際の業績、結果、パフォーマンス等と大幅に異なる結果となる可能性があります。
本資料に掲載されている将来予想に関する記述と実際の結果との間に不一致をもたらす可能性のある要素としては、海運市況の著しい変動や、為替・金利・燃料油価格の変動などが挙げられますが、これらに限定されるものでありません。諸要素の詳細については、EDINETに掲載されている当社の有価証券報告書にも記載されていますので、ご参照ください。
本資料に記載されている将来予想に関する記述は、本資料作成日時点のものであり、当社は、本資料作成日以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

本資料に掲載されている情報は、信頼できる情報源より取得するよう努力していますが、その情報の正確性または完全性については保証または約束するものではありません。当社は、本資料において使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は一切負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先 - IRグループ

住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル
TEL 03-3284-6008
FAX 03-3284-6382
E-mail iroffice@nykgroup.com
URL https://www.nyk.com/ir/

© 2020. NYK Group. All rights reserved.